

# 浦添(女子)興南(男子)制す



浦添(コザ)前半、堅い守りで相手の攻撃を阻む。又吉虹歌(中央)ら浦添の選手たち(4日、豊見城市民体育館、小川昌宏撮影)

【男子】	▽決勝
興南	39
2019	1711
1711	28
那覇西	浦添
浦添	29
1415	116
117	コザ
コザ	

## 浦添、堅守でコート支配 11度目V コザの3連覇阻止

**ハイライト**  
鉄壁の守りでコートを支配した。女子浦添は堅守から速攻へつなげ、コザの3連覇を阻止した。主将の又吉叶(3年)は「1年の」と

きから悔しい思いを縛っていた。絶対優勝して浦添の時代にしたいと思っていたと感無量の表情だった。  
前半はわずか6失点。相手フロロターに重圧をかけて勢いをそいだ。2枚でカットイェをつぶし、苦しい状態でのシュートへ追い込んだ。隙があればボールを奪い、あつという間に速攻へとつなぐ。攻撃を完全に封じながらも、点差を広げ15-6とした。  
試合終まで残り15分ごろ、堅守がほころんだ。5連続失点したところからハイライト。又吉が、最後まで全力でプレーとチームを締め直す。すでにこの一番でGK仲西涼夏(3年)が好セーブを連続し、悪い流れを断った。パスカットにも成功し、左サイドの比嘉栞(3年)が再び速攻でネットを揺らした。後半一時の失点が続いたが、浦添はチームカラーの守備を取り戻した。  
2月の九州大会、エースがけがを負った浦添。「エースが回復するまで、全国まで絶対つなげたい」とメンバーは口をそろえ、全国切符をエースへと送った。(名波一樹)



優勝した女子浦添の選手たち (小川昌宏撮影)



20連覇を達成した男子興南の選手たち (小川昌宏撮影)



**攻撃力見せつける 興南V20**  
○失点しても素早く取った。男子興南はメンバー力の高さを見せつけ勝利し、返し点差を詰めさせながら満遍なく得点できる攻撃した。

相手のデフエンスをセッターで崩して攻撃の機会をつくれた。後半に失点を許したが、大城虹雲(3年)のスピッシュュー(2年)の19.2秒の赤瀬尚太郎(2年)の高さのあるシュートもネットを揺らし、点を重ねた。主将、エースの比嘉栞(3年)は、相手のボールを奪うとセンターライン付近からロングシュートを決めるなど、光るプレーも見せた。  
20連覇のかがる戦いに重圧もあつた興南。比嘉主将は安堵(あんご)した顔も見せたが、「40点以上得点し、失点を20点下におさえたかった」と目標は高かった。(名波一樹)